

海事研究協議会

課題研究グループ「海技実務に着目した課題」

リーダー：津金正典

2018年度の取り組み

課題テーマ：「水先の実務にかかわる課題」

趣旨：

本課題研究グループは、水先人の実務にかかわる諸問題について法的・実務的な観点から問題点の洗い出しを行い、どこに問題の根源があるのか、問題の解決をどのように図るべきかを現場的立場から探る。

協議方法：

初年度においては水先の実務にかかわる以下の問題について重点的に協議する。

- 1) 水先類似行為の在り方に関する問題
- 2) 1級海技免状を有しない水先人に対し水先業務を海上履歴に組み込む問題

なお、関係する事項として上記に引き続き、水先人の後継者育成問題、水先人会の法人化問題に対しあるべき方向性を検討する。

さらに、次年度以降においては、海技のリスク・マネジメント推進にかかわる問題として、出入港航行安全対策など船舶の港内航行安全に関して港湾施設整備関係者、船舶運航者及び行政機関の取り組みが一枚岩となっていない現況に対し、関係者が意識を統一してガバナンスを強化する必要性についても取り組む。

活動予定：

- ・2018年3月開始、2019年3月レポート提出
- ・メールによる検討及び年間3回程度の検討会開催
- ・検討に当たっては各自の所属の立場を離れて議論することを原則とします。

課題研究グループメンバー

- ・船舶運航実務者
- ・研究者
- ・船舶運航実務経験者
- ・ドックマスター、バースマスター経験者
- ・その他参加を希望する会員